

臨床研究に関する情報公開（オプトアウト）

本学では、下記の研究を行います。本研究は、国が定めた指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、対象となる研究対象者全員の方から個別に、直接同意を得る必要がございません。つきましては、インフォームド・コンセント（説明に基く同意）を省略する代わりに、研究情報をホームページで通知・公開し、研究対象者等が拒否できる機会を保障致します。

本研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、問い合わせ先へ電話にてご連絡ください。

受付番号（研究番号）	2025-182
研究計画名	腎癌患者の検体を用いた分子オミックス解析による発がん要因・メカニズムの探索
本学の研究責任者	研究責任者：（所属）星薬科大学・衛生化学研究室 （氏名）戸塚ゆ加里 研究実施代表者：（所属）星薬科大学・衛生化学研究室 （氏名）戸塚ゆ加里
他の研究機関及び各施設の研究責任者	星薬科大学 戸塚ゆ加里 東京大学 柴田龍弘 国立がん研究センター 岩崎 基
本研究の目的	日本における腎臓がんの罹患率は年間約3万人、このうち約1万人が死亡しています。日本人の腎臓がん罹患患者数は年々増加していることや、腎臓がんの5年生存率は約60%にとどまることなどから、新たな治療法の開発に加え、早期診断方法や発がん要因およびメカニズムの解明に基づいた予防法の開発が急務です。そこで、近年増加傾向を示す日本人腎臓がんの罹患および死亡率を減少させるために「腎臓がんの環境要因の同定および機序解明とそれに基づいたがん予防および早期発見法の開発」が必要であると考えています。
研究期間	研究許可日～2030年03月31日
研究方法(使用する試料・情報)	国立がん研究センター・がん対策研究所が管理している多目的コホート研究（JPHC study）において1990年から1998年に実施された調査にて血液検体を提供した方、国立がん研究センターにて2004年から2018年にかけて実施された検診受診者コホート研究（JaSCo study）に参加された方が対象となります。調査時に提供された血液検体、アンケート調査への回答結果、検診結果などの臨床情報を使用します。神戸大学

	<p>医学部附属病院で手術を受けた腎臓の癌部/非癌部の分子オミックス解析(体細胞ゲノム変異情報、代謝物情報、DNA付加体情報の統合解析)により見出されたバイオマーカー(代謝物情報、DNA付加体情報)を測定し、腎臓がんと関連の検証およびそれらバイオマーカーと関連する生活習慣の探索を行います。</p> <p>【実施場所】 DNA付加体の解析：星薬科大学衛生化学研究室 代謝物の解析：東京大学先端科学技術研究センター 上記結果を用いた関連解析：国立がん研究センターがん対策研究所</p>
外部への試料・情報の提供	<p>共同研究者へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。</p> <p>情報の公開は星薬科大学、国立がん研究センター、東京大学のホームページや学術論文などで公開します。</p>
個人情報の取り扱い	<p>個人情報につながる情報は収集しません。また、これら検体は既に匿名化されており、実験者からは個人の特定ができない状況となっています。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>文部科学省科学研究費補助金 国立研究開発法人日本医療研究開発機構</p>
お問合せ先	<p>担当者：(所属) 星薬科大学・衛生化学研究室 (氏名) 戸塚ゆ加里 電話：03-5498-5771</p> <p>担当者：(所属) 国立がん研究センターがん対策研究所・疫学研究部 (氏名) 岩崎 基 電話：03-3547-5201 (内線 3386)</p>
備考	<p>この研究が適切に行われているかどうかを確認するために、第三者の立場の者があなたのカルテやその他の診療記録などを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には、守秘義務があり、あなたの個人情報は守られます。</p>